



Documents
ユーザ ガイド



Documents: ユーザ ガイド

発行日 水曜日, 21. 11 月 2018 バージョン 7.10.1

製作著作 © 2016-2018 OX Software GmbH. , このドキュメントは OX Software GmbH. の知的所有物です。

このドキュメントの全部または一部をコピーする場合、各コピーにこの著作権情報を明記する必要があります。このドキュメントの内容は細心の注意を払って編集されていますが、情報の誤りを完全に排除することはできません。OX Software GmbH、著者、および翻訳者は、記述の誤りとそれによって生じる結果について、いかなる責任も負うものではありません。このドキュメントで使用するソフトウェアの名称およびハードウェアの名称は登録商標である可能性があり、無償での使用が保証されているものではありません。OX Software GmbH は原則的に、製造元によるつづりの表記に従います。このドキュメントでは（注釈を付記せずとも）ブランド名、商標、ロゴなどを使用していますが、（商標とブランド名に関する法律により、）これらのブランド名等を無償で使用できることを示すものではありません。

目次

| | | |
|--------|---------------------|----|
| 1 | このドキュメントについて | 5 |
| 2 | Documentsの概要 | 7 |
| 3 | テキスト | 9 |
| 3.1 | テキストの画面構成 | 10 |
| 3.1.1 | ツールバー | 10 |
| 3.1.2 | 最近使ったドキュメント | 10 |
| 3.1.3 | テンプレートから新規作成 | 10 |
| 3.2 | テキスト編集ページ | 11 |
| 3.2.1 | Office メニュー バー | 12 |
| 3.2.2 | ルーラー | 12 |
| 3.2.3 | ファイル ツールバー | 13 |
| 3.2.4 | 書式 ツールバー | 14 |
| 3.2.5 | 挿入 ツールバー | 15 |
| 3.2.6 | 表 ツールバー | 16 |
| 3.2.7 | 画像ツールバー | 16 |
| 3.2.8 | 図形ツールバー | 17 |
| 3.2.9 | レビュー ツールバー | 18 |
| 3.2.10 | ドキュメント ウィンドウ | 18 |
| 3.3 | テキストドキュメントの作成 | 19 |
| 3.4 | テキストドキュメントを開く | 20 |
| 3.5 | テキストドキュメントの編集 | 21 |
| 3.6 | 新規の名前でテキストドキュメントを編集 | 22 |
| 3.7 | Documents設定 | 23 |
| 4 | スプレッドシート | 25 |
| 4.1 | スプレッドシートの画面構成 | 26 |
| 4.1.1 | ツールバー | 26 |
| 4.1.2 | 最近使ったドキュメント | 26 |
| 4.1.3 | テンプレートから新規作成 | 26 |
| 4.2 | スプレッドシート編集ページ | 27 |
| 4.2.1 | Office メニュー バー | 28 |
| 4.2.2 | ファイル ツールバー | 29 |
| 4.2.3 | 書式 ツールバー | 30 |
| 4.2.4 | データツールバー | 30 |
| 4.2.5 | 挿入 ツールバー | 31 |
| 4.2.6 | 行/列 ツールバー | 31 |
| 4.2.7 | コメントツールバー | 32 |
| 4.2.8 | 画像ツールバー | 32 |
| 4.2.9 | 図形ツールバー | 33 |
| 4.2.10 | グラフツールバー | 33 |
| 4.2.11 | 数式バー | 33 |
| 4.2.12 | ドキュメント ウィンドウ | 33 |
| 4.2.13 | スプレッドシートタブ | 34 |

| | | |
|----------|--------------------|-----------|
| 4.3 | スプレッドシートの作成 | 35 |
| 4.4 | スプレッドシートを開く | 36 |
| 4.5 | スプレッドシートの編集 | 37 |
| 4.6 | 新規の名前でスプレッドシートを編集 | 38 |
| 4.7 | 設定 | 39 |
| 5 | プレゼンテーション | 41 |
| 5.1 | プレゼンテーションの画面構成 | 42 |
| 5.1.1 | ツールバー | 42 |
| 5.1.2 | 最近使ったドキュメント | 42 |
| 5.1.3 | テンプレートから新規作成 | 42 |
| 5.2 | プレゼンテーション編集ページ | 43 |
| 5.2.1 | Office メニュー バー | 44 |
| 5.2.2 | ファイル ツールバー | 45 |
| 5.2.3 | 書式 ツールバー | 46 |
| 5.2.4 | 挿入 ツールバー | 47 |
| 5.2.5 | スライドツールバー | 48 |
| 5.2.6 | レビュー ツールバー | 48 |
| 5.2.7 | 表 ツールバー | 48 |
| 5.2.8 | 画像ツールバー | 49 |
| 5.2.9 | 図形ツールバー | 50 |
| 5.2.10 | 線ツールバー | 50 |
| 5.2.11 | サイドバー | 51 |
| 5.2.12 | ドキュメント ウィンドウ | 51 |
| 5.3 | プレゼンテーションの作成 | 52 |
| 5.4 | プレゼンテーションの表示 | 53 |
| 5.5 | プレゼンテーションの編集 | 54 |
| 5.6 | 新規の名前でプレゼンテーションを編集 | 57 |
| 5.7 | 設定 | 58 |
| 6 | テンプレート | 59 |
| 6.1 | テンプレートの使用 | 60 |
| 6.2 | テンプレートの作成 | 61 |
| 6.3 | テンプレートを編集 | 62 |
| 6.4 | テンプレートの整理 | 63 |
| 7 | 共同編集 | 65 |
| 7.1 | ドキュメントの共有 | 66 |
| 7.2 | ドキュメントの共同編集 | 68 |
| | 索引 | 69 |

1 このドキュメントについて

このドキュメントを活用するために理解しておくべき情報を次のトピックごとに説明します。

このドキュメントの対象読者

このドキュメントは、グループウェア内で Office ドキュメントを作成、編集するユーザや他のユーザと情報のやり取りをするユーザを対象にしています。

このドキュメントの前提は何ですか？

また、このドキュメントは、エンドユーザがOfficeアプリケーションの文書編集について理解しているものとして書かれています。

このドキュメントに記載されている内容

このドキュメントは、次の情報が含まれます。

- [Documentsの概要](#)では、Documentsの概要について説明します。
- [テキスト](#)では、テキスト の使用方法について説明します。
- [スプレッドシート](#)では、スプレッドシート の使用方法について説明します。
- [プレゼンテーション](#)では、プレゼンテーション の使用方法について説明します。
- [テンプレート](#)では、テキストおよびスプレッドシートのテンプレートの使用方法について説明します。
- [共同編集](#)では、他のユーザと共同編集する時の注意事項や手順について説明します。

このドキュメントでは、グループウェアの一般的なインストール方法と構成方法について説明します。ご利用のグループウェアのインストール バージョンならびに構成によって、記載の方法と異なる場合があります。

その他のヘルプ

グループウェアに関する全般的な情報は、Groupwareのユーザ ガイドを参照してください。

2 Documentsの概要

*Documents*では、グループウェア内から Office ドキュメントを編集するための次のさまざまな機能を提供します。MicrosoftまたはOpenOffice形式でOffice ドキュメントを編集できます。

- 書式付きのテキストドキュメントをやりとりに使用。ドキュメントに表や画像を使用。
- スプレッドシートを使用して、グラフ、スプレッドシート、数式を編集。
- プレゼンテーションを作成および編集ローカルまたはオンラインでプレゼンテーションを開始します。
- 他のユーザとドキュメントを共同編集。
- 他のグループウェア アプリケーションを通じて、ドキュメントを整理したり、メールでドキュメントを送信したり、他のユーザや外部のパートナーとドキュメントを共有。

Documents では、次のアプリケーションが利用できます。

- テキストを作成、編集するための [テキスト](#) アプリケーション
- スプレッドシートを作成、編集するための [スプレッドシート](#) アプリケーション
- プレゼンテーションを作成、編集するための [プレゼンテーション](#) アプリケーション

3 テキスト

テキストアプリケーションの使用方法を次のトピックごとに説明します。

- テキスト構成
- テキスト 編集ページ画面構成
- 新規テキストドキュメントの 作成
- 既存のテキストドキュメントを開く
- テキストドキュメントの 編集
- 新規の名前でテキストドキュメントを編集
- Documents 設定を調整

テキスト ファイルの検索や整理、他のユーザと共有するには、ドライブアプリケーションを使用します。

テキストアプリケーションを起動する：

メニューバーのアプリケーションランチャーアイコンをクリックします。アプリケーションランチャーのテキストをクリックします。

3.1 テキストの画面構成

テキストアプリケーションには下記を含めます。

- ツールバー
- 最近使ったドキュメント
- テンプレートから新規作成

3.1.1 ツールバー

ツールバーには、次の機能が利用できます。

- **新規テキストドキュメント** ボタン。**新規テキストドキュメント**を作成します。
- **新規テキストドキュメント (暗号化)** ボタン表示されるかどうかはグループウェアの構成によります。暗号化の情報はグループウェアユーザガイドを参照してください。
- **ドキュメントを開く** ボタン。**既存のドキュメント** を開きます。

3.1.2 最近使ったドキュメント

最近開いたドキュメントの一覧が表示されます。次の機能が利用できます。

- ドキュメント名にマウスのポインタを置くと、ファイル名とドキュメントのパスが表示されます。
- ドキュメントをクリックするとドキュメントが開きます。
- ドキュメントのコンテキストメニューには編集、ダウンロード、一覧を整理する機能があります。

詳細は、次のページを参照してください。

- [テキスト編集ページ \(p. 11\)](#)
- [テキストドキュメントを開く \(p. 20\)](#)
- [テキストドキュメントの編集 \(p. 21\)](#)

3.1.3 テンプレートから新規作成

さまざまなドキュメントのテンプレートがあります。次の機能が利用できます。

- テンプレートをクリックすると新規ドキュメントが作成されます。新規ドキュメントはテンプレートのコピーになります。
- テンプレートのコンテキストメニューにはテンプレート編集とドキュメントの作成機能があります。

詳細は、次のページを参照してください。

- [テキスト編集ページ \(p. 11\)](#)
- [テキストドキュメントの作成 \(p. 19\)](#)
- [テキストドキュメントの編集 \(p. 21\)](#)

3.2 テキスト編集ページ

テキストドキュメントを作成したり、既存のテキストドキュメントを編集する場合、テキスト編集ページを開きます。次の要素が含まれます。

- Office メニュー バー
- ルーラー
- ファイル ツールバー
- 書式 ツールバー
- 挿入 ツールバー
- 表 ツールバー. 表が選択されているときに表示されます。
- 画像ツールバー. 画像が選択されているときに表示されます。
- 図形ツールバー. テキストフレームまたは図形が選択されているときに表示されます。
- レビュー ツールバー
- ドキュメント ウィンドウ

注：画面サイズが小さい場合、コンパクトツールバーが表示されます。コンパクトツールバーでは、テキストがアイコンで表示されているものもあります。複数のメニュー項目はスクロールバーに組み込まれます。

3.2.1 Office メニュー バー

次のことが行えます。

- ファイルファイル機能を適用する **ファイル ツールバー**を表示します。
- フォーマットドキュメントの内容に書式を設定する **書式 ツールバー** を表示します。
- 挿入表、画像、テキストフレーム、ハイパーリンク、タブストップ、改行、改ページなどをテキストに挿入する**挿入ツールバー**を表示します。
- レビュースペルチェック ツールと変更履歴ツールが使用できる **レビュー ツールバー** を表示します。
- 暗号化 アイコン。暗号化されたドキュメントが表示されているときに表示されます。暗号化の情報はグループウェアユーザガイドを参照してください。
- 保存についての通知。ドキュメントのすべての変更が保存されたかどうかを通知します。
- 前の操作に戻る アイコン。前の操作に戻します。
- 復元 アイコン。元に戻す操作を取り消します。
- 検索フィールドを表示 アイコン。テキストの文字列を検索または置換するコントロールを表示します。
- 表示次のオプションを選択できるメニューが表示されます。
 - テキストを拡大、縮小する機能
 - ツールバーを表示 チェックボックス。ツールバーを常に表示するかどうかを指定します。
 - ルーラーを表示 チェックボックス。ドキュメント上にルーラーを表示するかどうかを指定します。
 - 共同編集者を表示 チェックボックス。ドキュメントの編集者のリストを表示するかどうかを指定します。他のユーザと共にドキュメントを編集 する場合のみ、この機能を有効にします。
- ドキュメントを閉じる アイコン。書式ウィンドウを閉じます。

詳細は、次のページを参照してください。

[テキストドキュメントの編集 \(p. 21\)](#)

3.2.2 ルーラー



次のことが行えます。

- ドキュメントのマージン
- 選択した段落、テキストフレーム、あるいは表のセルのインデント調整ツール
矢印を使って、左インデント、右インデント、最初の行のインデントを変更できます。
マーカーをダブルクリックすると、値を調整してインデントを設定できるウィンドウが表示されます。

詳細は、次のページを参照してください。

[テキストドキュメントの編集 \(p. 21\)](#)

3.2.3 ファイル ツールバー



ツールバーには、次のツールが表示されます。

- **ドキュメントの名前を変更**入力フィールドドキュメントの名前を変更するには、ファイル名をクリックします。
- **ドライブに保存**次のオプションを選択できるメニューが表示されます。
 - **名前を付けて保存**選択したドキュメントを新規の名前または別のフォルダに保存します。
 - **（暗号化）として保存**構成によって、この機能が利用できない可能性があります。暗号化の情報はグループウェアユーザガイドを参照してください。
 - **テンプレートとして保存**テンプレートとして選択したドキュメントを保存します。
 - **PDFとしてエクスポート**。選択したドキュメントをPDF形式にエクスポートします。
 - **自動保存**チェックボックス定期的にドキュメントを自動的に保存するかどうかを指定できます。
- **ページ設定**アイコン。ページ設定ツールでウィンドウを開きます。
 - 用紙、ページの方向、ページ余白の既定値
 - 用紙サイズ、ページ余白の入力フィールド
- **ダウンロード**アイコン。選択したドキュメントをダウンロードします。
- **PDFとして印刷**アイコン。現在のドキュメントのPDFバージョンを生成します。
- **メールで送信**アイコン。次のオプションを選択できるメニューが表示されます。
 - **メールにドキュメントを添付する**。選択したドキュメントをメールの添付ファイルとして送信します。
 - **PDFとしてメールに添付する**。選択したドキュメントをメールのPDF形式の添付ファイルとして送信します。
 - **内容をメールとして送信**。現在のドキュメントのフォーマット付き内容をHTML形式のメールとして送信します。
- **共有**アイコン。次のオプションを選択できるメニューが表示されます。
 - **招待**。ドキュメントの閲覧や編集への招待をするための機能を表示します。
 - **共有リンクを作成**リンクを使ったドキュメントの共有のための機能を表示します。

注：暗号化されたドキュメントを開くと、メールで送信及び共有の機能は利用できません。

詳細は、次のページを参照してください。

[テキストドキュメントの編集 \(p. 21\)](#)

3.2.5 挿入 ツールバー



次の機能があります。

- **スプレッドシート**スプレッドシートを挿入挿入するときに行および列の数を指定できます。
- **画像**画像挿入用ウィンドウを開きます。画像をローカルファイルとして、あるいはドライブから開くことができます。
- **テキストフレーム**テキストフレームを挿入
テキストフレームは長方形で、罫線、バックグラウンド、テキストがついています。グラフィックと同様、テキストフレームの移動、回転、調整が可能です。
- **図形**図形の挿入機能のメニューを開きます。
図形にはフレームとバックグラウンドがあります。多くの図形には編集可能なテキストが入れられます。
- **コメント**サイドバーにあるコメント用入力フィールドを開きます。コメントテキストに加えて、次も含まれます。
 - 編集者の名前
 - コメントの作成日時
 - コメントに返信アイコン、またはコメントを削除アイコン
 コメントの表示・非表示機能は、[レビュー ツールバー \(page 18\)](#)を参照してください。
- **ハイパーリンク**ハイパーリンク挿入または編集用ウィンドウを開きます。
- **タブストップ、改行、改ページ**各制御文字の挿入
- **ヘッダとフッタ**ヘッダテキストを入力できるページの上のエリアを表示します。ヘッダの下に追加の要素が表示されます。
 - **ヘッダ**次のオプションを選択できるメニューが表示されます。
 - 設定では、異なるヘッダをドキュメントの特定の部分で使用するかどうかを指定することができます。
 - 選択した設定によって、ボタンのキャプションが変わります。
 - ドキュメント全体で全てのヘッダとフッタを削除する
 - **フッタを表示**フッタテキストを入力できるページの下のエリアを表示します。
 - **閉じる**ヘッダまたはフッタの編集を終了します。
- **フィールド**フィールドの挿入機能のメニューを開く：
 - ページ番号、ページ数
 - 現在の時間、現在の日付
 - ドキュメント名、作成者名
- **目次**目次の挿入機能のメニューを開きます。
既存の目次を調整するには、コンテキストメニューを使用します。

詳細は、次のページを参照してください。

[テキストドキュメントの編集 \(p. 21\)](#)

3.2.8 図形ツールバー



テキストフレームを選択すると、**図形ツールバー**が表示されます。ツールバーには、次のツールが表示されます。

- 図形の挿入
- オブジェクトを削除
- オブジェクトフレームの罫線スタイルおよび色を調整
- オブジェクトの内容の背景色を調整
- 罫線形式を別のオブジェクトに反映します。
- **配置メニュー**を表示して、オブジェクトが固定されたときの動きを指定できます。
- **役職**オブジェクトを段落またはページに固定すると、テキストの折り返しを指定できます。
- **配置次**のオプションを選択できるメニューが表示されます。
 - オーバラップするオブジェクトの表示順を指定します。
 - オブジェクトを回転または反転
- **テキストアライメントメニュー**を表示して、オブジェクト内のテキストのアライメントを指定できます。
- **オートフィット**チェックボックスオブジェクトの高さを内容に合わせて自動調整するかどうかを指定します。

詳細は、次のページを参照してください。

[テキストドキュメントの編集 \(p. 21\)](#)

3.2.9 レビュー ツールバー



次の機能があります。

- 常にスペルチェックを行うアイコンテキストの入力中にスペルチェックを起動します。コンテキストメニューを使ってユーザ辞書に登録されていない単語を追加することができます。ユーザ辞書の編集機能については次を参照してください。Documents設定 (page 23)
- ドキュメントまたは選択した段落の言語の変更
- 変更履歴を記録変更履歴を有効または無効にします。変更を扱う他のボタンも利用可能です。
 - 承諾選択された変更またはすべての変更を適用します。
 - 反映しない選択された変更またはすべての変更を変更前に戻します。
 - 戻る, 次へ前の変更または次の変更を選択します。
- コメントを挿入サイドバーにあるコメント用入力フィールドを開きます。コメントテキストに加えて、次も含まれます。
 - 編集者の名前
 - コメントの作成日時
 - コメントに返信アイコン、またはコメントを削除アイコン
 コメント挿入機能については、挿入 ツールバー (page 15)も参照してください。
- マークアップ[参考] コメントを表示するかどうかを指定できるメニューを表示します。
 - 現在のコメントまたは全てのコメントを強調表示
 - コメントをバブル表示
 - コメントを非表示
 - 特定の作成者のコメント、各作成者のコメントのみを表示
- 戻る前のコメントを選択します。
- 次へ, 次のコメントを選択します。
- すべてを削除ドキュメントの全てのコメントを削除します。

詳細は、次のページを参照してください。

[テキストドキュメントの編集 \(p. 21\)](#)

3.2.10 ドキュメント ウィンドウ

ドキュメント ウィンドウは画面の中央に表示されます。この画面で、ドキュメントの内容の作成および編集ができます。

3.3 テキストドキュメントの作成

書式付きテキスト、表、画像を含むドキュメントを作成できます。次のようなオプションの機能があります。

- テキスト アプリケーションでのテキストドキュメントの作成
- ドライブ アプリケーションでのテキストドキュメントの作成

テンプレートも使用できます。暗号化されたドキュメントの作成情報は、グループウェアユーザガイドのデータの暗号化のトピックを参照してください。

テキスト アプリケーションで新規テキストドキュメントを作成する：

1. テンプレートを使用せずに新規テキストドキュメントを作成するには、テキスト アプリケーションで、ツールバーの **新規テキストドキュメント** をクリックします。
テンプレートの使用には、次のいずれかの方法を使用します。
 - テンプレートから**新規作成** で、テンプレートをクリックします。
 - テンプレートのコンテキスト メニューを開きます。**テンプレートから新規作成** をクリックします。
無題 ページにドキュメントが表示されます。
2. **ファイル** ツールバーで、**無題** をクリックします。名前を入力します。
この画面で、内容の作成および編集ができます。
3. 終了するには、Office メニューバーの右側にある **ドキュメントを閉じる** アイコン  をクリックします。

ドライブ アプリケーションで新規テキストドキュメントを作成する：

1. ドライブアプリケーションを起動する。
2. フォルダビューで、フォルダを 開きます。
注：オブジェクトを作成する権限のあるフォルダを開いてください。
3. テンプレートを使用せずに新規テキストドキュメントを作成するには、ツールバーの **新規** をクリックします。**新規テキストドキュメント** をクリックします。
テンプレートの使用には、次のいずれかの方法を使用します。
 - テンプレートをダブル クリックします。
 - テンプレートを選択します。ツールバーで、**テンプレートから新規作成** をクリックします。
 - ビューアでテンプレートを表示します。**テンプレートから新規作成** をクリックします。
4. **ファイル** ツールバーで、**無題** をクリックします。名前を入力します。
この画面で、内容の作成および編集ができます。
5. 終了するには、Office メニューバーの右側にある **ドキュメントを閉じる** アイコン  をクリックします。

詳細は、次のページを参照してください。

- テキストドキュメントを開く (p. 20)
- テキストドキュメントの編集 (p. 21)
- 新規の名前でテキストドキュメントを編集 (p. 22)
- ツールバー (p. 10)
- テンプレート (p. 59)

3.4 テキストドキュメントを開く

ドライブ またはローカルドライブに保存されているテキストドキュメントを開くことができます。次のようなオプションの機能があります。

- テキストアプリケーションで、テキストドキュメントを開きます。
- ドライブアプリケーションで、テキストドキュメントを開きます。
- ローカルに保存されたテキストドキュメントを開く

暗号化されたドキュメントの作成情報は、グループウェアユーザガイドのデータの暗号化のトピックを参照してください。

テキストアプリケーションで、テキストドキュメントを開く：

次のいずれかの方法を使用します。

- よく使用するドキュメントを表示するには、最近使用したドキュメントのドキュメントをクリックします。
ドキュメントのコンテキストメニューも開くことができます。編集 を選択します。
ヒント：コンテキストメニューを使って最近開いたドキュメントの一覧からドキュメントを削除することができます。
- 別のドキュメントを表示するには、ツールバーのドキュメントを開くをクリックします。ドキュメントを開くウィンドウで、テキストドキュメントを選択します。開く をクリックします。

ドライブアプリケーションで、テキストドキュメントを開く：

次のいずれかの方法を使用します。

- テキストドキュメントを選択します。ツールバーで、編集 をクリックします。
- テキストドキュメントをダブルクリックします。
- コンテキストメニューから編集を選択します。
- ビューアでテキストドキュメントを表示します。編集 をクリックする

ローカルに保存されたテキストドキュメントを表示する：

1. テキスト アプリケーションで、ツールバーの **ドキュメントを開く** をクリックします。
ドキュメントを開くウィンドウで、オブジェクト作成の適切な権限のあるフォルダを選択します。
 2. **ローカルファイル** をクリックします。テキストドキュメントを選択します。
- 結果：ドキュメントは、ドライブにアップロードされます。その後、ドキュメントは表示されます。

詳細は、次のページを参照してください。

- テキストドキュメントの作成 (p. 19)
- テキストドキュメントの編集 (p. 21)
- 新規の名前でテキストドキュメントを編集 (p. 22)
- ツールバー (p. 10)
- 最近使ったドキュメント (p. 10)
- テンプレートから新規作成 (p. 10)

3.5 テキストドキュメントの編集

次のようなオプションの機能があります。

- テキストの編集、文字の書式設定、段落の書式設定
- 表、画像、テキストフレーム、ヘッダ、フッタおよびページ番号などのさまざまな要素を挿入します。
- スペルチェック、コメントの使用
- 選択したドキュメントのダウンロード、印刷、メールでの送信
- テキストの検索と置換

注：ドキュメントを編集するには、対象のドキュメントがあるドライブフォルダの編集権限が必要です。

テキストドキュメントを編集する

1. **新規のテキストドキュメント**を作成するか、既存のドキュメントを開きます。
2. テキストドキュメントを編集する際の操作は、一般的な Office アプリケーションの操作と同様です。
 - 文字や段落の書式を設定したりセルを編集するには、**書式 ツールバー** の機能を使用します。
 - クリップボード機能を使用するには、コンテキストメニューまたはお使いのシステムの鍵の組み合わせを使用します。
 - 現在のカーソル位置の段落から新規の段落スタイルを作成するには、**段落スタイルから新規スタイルを作成**を選択します。
 - さまざまな要素を挿入するには、**挿入ツールバー**を使用します。次の要素が挿入できます。
 - 表、画像、テキストフレーム、コメント、ハイパーリンク
 - タブストップ、改行、改ページ
 - ヘッダ、フッタ
 - 作成者名、ファイル名、日付、時間、ページ番号、ページ数などの自動的に作成された内容のフィールド
フィールドの内容を編集するには、フィールドをクリックします。フィールドに応じて、異なる編集機能を使用できる場合があります。
 - スペルチェック、変更履歴、コメント管理には、**チェックツールバー**機能を使用します。

ヒント：多くの機能がコンテキストメニューで起動することもできます。

注：すべての変更はただちに保存されます。

3. テキストの文字列を検索したり、置換するには、Office メニューバーの右側にある **検索フィールドを表示** アイコン  をクリックします。検索や置換のコントロールが表示されます。
4. 選択したテキストドキュメントの名前の変更、保存、ダウンロード、または、印刷、あるいはメールで送信するには、**ファイル ツールバーの機能を使用します。**
5. 編集を終了してテキストドキュメントを閉じるには、Office メニューバーの右側にある **ドキュメントを閉じる** アイコン  をクリックします。

詳細は、次のページを参照してください。

テキストドキュメントの作成 (p. 19)

テキストドキュメントを開く (p. 20)

新規の名前でテキストドキュメントを編集 (p. 22)

テキスト編集ページ (p. 11)

3.6 新規の名前でテキストドキュメントを編集

既存のドキュメントのコピーとしての新規ドキュメントを作成することができます。次のようなオプションの機能があります。

- 新規の名前で最近使ったドキュメントを編集
- 新規の名前でドキュメントを編集

新規の名前で最近使ったドキュメントを編集する：

1. テキスト アプリケーションでは最近使用したドキュメント下のドキュメントコンテキストメニューから**新規編集**を選択することができます。編集するドキュメントが表示されます。
2. **ファイル** ツールバーで、**無題** をクリックします。名前を入力します。
この画面で、内容の**作成および編集**ができます。

新規の名前でドキュメントを編集する

1. ドライブアプリケーションを起動する。
2. フォルダビューで、ドキュメントが保存されているフォルダを 開きます。
注：オブジェクトを作成する権限のあるフォルダを開いてください。
3. ビューアでドキュメントを表示します。さらに**表示アイコン**  をクリックします。**新規編集** を選択します。編集するドキュメントが表示されます。
4. **ファイル** ツールバーで、**無題** をクリックします。名前を入力します。
この画面で、内容の**作成および編集**ができます。

詳細は、次のページを参照してください。

- テキストドキュメントの作成 (p. 19)
- テキストドキュメントを開く (p. 20)
- テキストドキュメントの編集 (p. 21)
- ツールバー (p. 10)
- 最近使ったドキュメント (p. 10)
- テキスト編集ページ (p. 11)

3.7 Documents設定

Documentsの設定を使用する：

1. メニューバーの右側の設定アイコンをクリックします。メニュー項目で、設定をクリックします。
2. サイドバーでドキュメントをクリックします。
3. 設定を変更します。

次の設定が利用できます：

- **寸法**
用紙サイズ、ページ余白、行の高さ、列幅の寸法を指定します。
- **常にスペルチェックを行う**
スペルチェッカーが既定で常に有効になっているかどうかを指定します。このオプションをドキュメントウィンドウで有効または無効にもできます。
- **ユーザ辞書を編集**
ユーザ辞書ウィンドウを表示します。単語を追加したり、削除できます。
- **言語通知を設定します。**
サポートされていないスペルチェック機能のついた言語の通知を無効にできるウィンドウを表示します。
- **自分のテンプレートフォルダ**
テンプレートフォルダを表示さらにテンプレートフォルダの追加ができます。マイファイルをクリックすると、ドライブアプリケーションでフォルダが開きます。テンプレートフォルダをクリックすると、ドライブアプリケーションでフォルダが開きます。テンプレートの詳細と使い方は、[テンプレート \(page 59\)](#)を参照してください。
- **グローバルテンプレートフォルダ**
グローバルテンプレートフォルダを表示テンプレートフォルダをクリックすると、ドライブアプリケーションでフォルダが開きます。

4 スプレッドシート

スプレッドシートアプリケーションの使用方法を次のトピックごとに説明します。

- [スプレッドシート構成](#)
- [スプレッドシート 編集ページ画面構成](#)
- [新規スプレッドシートの作成](#)
- [既存のスプレッドシートの表示](#)
- [スプレッドシートの編集](#)
- [新規の名前でのスプレッドシートの編集](#)

スプレッドシートの検索や整理、他のユーザと共有するには、[ドライブアプリケーション](#)を使用します。

スプレッドシートアプリケーションを起動する：

メニューバーの[アプリケーションランチャーアイコン](#)  をクリックします。アプリケーションランチャーの[スプレッドシート](#)をクリックします。

4.1 スプレッドシートの画面構成

スプレッドシートアプリケーションには下記を含めます。

- ツールバー
- 最近使ったドキュメント
- テンプレートから新規作成

4.1.1 ツールバー

ツールバーには、次の機能が利用できます。

- **新規スプレッドシート** ボタン。 **新規スプレッドシート**を作成する
- **新規スプレッドシート (暗号化)** ボタン表示されるかどうかはグループウェアの構成によります。暗号化の情報はグループウェアユーザガイドを参照してください。
- **ドキュメントを開く** ボタン。 **既存のドキュメント** を開きます。

4.1.2 最近使ったドキュメント

最近開いたドキュメントの一覧が表示されます。次の機能が利用できます。

- ドキュメント名にマウスのポインタを置くと、ドキュメントのパスが表示されます。
- ドキュメントをクリックするとドキュメントが開きます。
- ドキュメントのコンテキストメニューには編集、ダウンロード、一覧を整理する機能があります。

詳細は、次のページを参照してください。

- [スプレッドシート編集ページ \(p. 27\)](#)
- [スプレッドシートを開く \(p. 36\)](#)
- [スプレッドシートの編集 \(p. 37\)](#)

4.1.3 テンプレートから新規作成

さまざまなドキュメントのテンプレートがあります。次の機能が利用できます。

- テンプレートをクリックすると新規ドキュメントが作成されます。新規ドキュメントはテンプレートのコピーになります。
- テンプレートのコンテキストメニューにはテンプレート編集とドキュメントの作成機能があります。

詳細は、次のページを参照してください。

- [スプレッドシート編集ページ \(p. 27\)](#)
- [スプレッドシートの作成 \(p. 35\)](#)
- [スプレッドシートの編集 \(p. 37\)](#)

4.2 スプレッドシート編集ページ

スプレッドシートの作成や既存のスプレッドシートの編集時にスプレッドシート編集ページが表示されます。次の要素が含まれます。

- Office メニュー バー
- ファイル ツールバー
- 書式 ツールバー
- データツールバー
- 挿入 ツールバー
- 行/列 ツールバー
- コメントツールバー現在のスプレッドシートに互換性のあるアプリケーションで挿入されたコメントがある場合は表示されます。
- 画像ツールバー. 画像が選択されているときに表示されます。
- 図形ツールバー. 図形が選択されているときに表示されます。
- グラフツールバー. グラフが選択されているときに表示されます。
- 数式バー
- ドキュメント ウィンドウ
- スプレッドシートタブ

注：画面サイズが小さい場合、コンパクトツールバーが表示されます。コンパクトツールバーでは、テキストがアイコンで表示されているものもあります。複数のメニュー項目はスクロールバーに組み込まれます。

4.2.1 Office メニュー バー

次のことが行えます。

- ファイルファイル機能を適用する **ファイル ツールバー**を表示します。
- フォーマットドキュメントの内容に書式を設定する **書式 ツールバー** を表示します。
- データデータをソートまたはフィルタできる **データ ツールバー** を表示します。
- 挿入画像、表、ハイパーリンクなどをテキストに挿入する **挿入 ツールバー** を表示します。
- 行/列行や列を編集するツールを使用できる **行/列 ツールバー** を表示します。
- 暗号化 アイコン。暗号化されたドキュメントが表示されているときに表示されます。暗号化の情報はグループウェアユーザガイドを参照してください。
- 保存についての通知。ドキュメントのすべての変更が保存されたかどうかを通知します。
- 前の操作に戻る アイコン。前の操作に戻します。
- 復元 アイコン。元に戻す操作を取り消します。
- 検索フィールドを表示 アイコン。テキストの文字列を検索または置換するコントロールを表示します。
- 表示次のオプションを選択できるメニューが表示されます。
 - テキストを拡大、縮小する機能
 - 表を分割 ボタン。現在のカーソル位置の左上でシートを分割します。
 - シートを固定 ボタン。現在のカーソル位置の左の列と上の行でシートを固定します。
 - ツールバーを表示 チェックボックス。ツールバーを常に表示するかどうかを指定します。
 - 共同編集者を表示 チェックボックス。ドキュメントの編集者のリストを表示するかどうかを指定します。他のユーザと共にドキュメントを編集 する場合のみ、この機能を有効にします。
 - グリッド線を表示 チェックボックス。グリッド線を常に表示するかどうかを指定します。
 - シート タブを表示 チェックボックス。他のシート用のタブをスプレッドシートの下に表示するかどうかを指定します。
- ドキュメントを閉じる アイコン。書式ウィンドウを閉じます。

詳細は、次のページを参照してください。

[スプレッドシートの編集 \(p. 37\)](#)

4.2.2 ファイル ツールバー



ツールバーには、次のツールが表示されます。

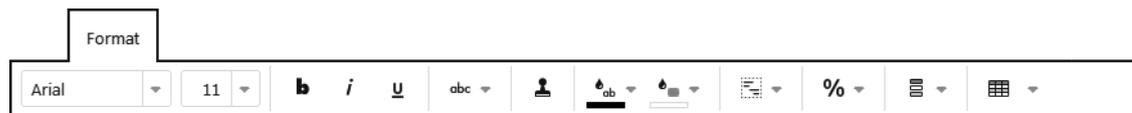
- **ドキュメントの名前を変更**入力フィールドドキュメントの名前を変更するには、ファイル名をクリックします。
- **ドライブに保存**次のオプションを選択できるメニューが表示されます。
 - **名前を付けて保存**選択したドキュメントを新規の名前または別のフォルダに保存します。
 - **（暗号化）として保存**構成によって、この機能が利用できない可能性があります。暗号化の情報はグループウェアユーザガイドを参照してください。
 - **テンプレートとして保存**テンプレートとして選択したドキュメントを保存します。
 - **PDF としてエクスポート**。選択したドキュメントをPDF形式にエクスポートします。
 - **自動保存**チェックボックス定期的にドキュメントを自動的に保存するかどうかを指定できます。
- **ダウンロード**アイコン。選択したドキュメントをダウンロードします。
- **PDFとして印刷**アイコン現在のドキュメントのPDFバージョンを生成します。
- **メールで送信**アイコン。選択したドキュメントをメールの添付ファイルとして送信します。
- **共有**アイコン次のオプションを選択できるメニューが表示されます。
 - **招待**。ドキュメントの閲覧や編集への招待をするための機能を表示します。
 - **共有リンクを作成**リンクを使ったドキュメントの共有のための機能を表示します。

注：暗号化されたドキュメントを開くと、メールで送信及び共有の機能は利用できません。

詳細は、次のページを参照してください。

[スプレッドシートの編集 \(p. 37\)](#)

4.2.3 書式 ツールバー



次の機能があります：

- 文字の書式設定
 - フォント ファミリ、フォント サイズ
 - 強調
 - 他の字体スタイル、フォーマットを解除
 - 書式のコピー/貼り付け
 - テキストの色
 - 背景色
- セルの書式設定
 - 水平方向の配置、垂直方向の配置、自動的にテキストを折り返す、セルを結合または結合を解除
 - 通貨形式はパーセンテージで
 - 数字形式セルの内容の書式（例：数値）を定義します。
 - 書式コードサブ書式（例：小数の桁数）を定義します。
 - セルの罫線、罫線のスタイル、罫線の色
 - セルのスタイル

詳細は、次のページを参照してください。

[スプレッドシートの編集 \(p. 37\)](#)

4.2.4 データツールバー



次の機能があります：

- 選択したセルのソート
- 選択されたセルをフィルター
- 名前の付いた範囲の作成、編集、または表示数式では、元のセルアドレスの代わりに名前の付いた範囲を使用できます。
- **セル保護** 選択されたセルについて次のプロパティを設定できるメニューを表示します：
 - 編集からセルを保護
 - セルを非表示にする
 セルが保護されているときにこのプロパティは有効になります。そのために、ドキュメントウィンドウ下の[スプレッドシートタブ](#)を使用します。

詳細は、次のページを参照してください。

[スプレッドシートの編集 \(p. 37\)](#)

4.2.5 挿入 ツールバー



次の機能があります。

- 合計選択したセルの合計の計算
- 機能関数挿入用ウィンドウを開きます。関数をクリックすると、関数の説明が表示されます。
- ハイパーリンクハイパーリンク挿入または編集用ウィンドウを開きます。
- 画像画像挿入用ウィンドウを開きます。画像をローカルファイルとして、あるいはドライブから開くことができます。
- 図形図形の挿入機能のメニューを開きます。
図形にはフレームとバックグラウンドがあります。多くの図形には編集可能なテキストが入れられます。
- チャートチャートの挿入機能のメニューを開きます。

詳細は、次のページを参照してください。

[スプレッドシートの編集 \(p. 37\)](#)

4.2.6 行/列 ツールバー



次の機能があります。

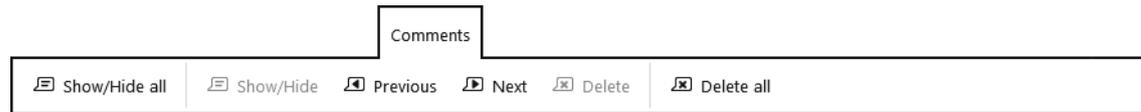
- 行の挿入、選択した行の削除、行の高さの設定
- 列の挿入、選択した列の削除、列の幅の設定

詳細は、次のページを参照してください。

[スプレッドシートの編集 \(p. 37\)](#)

4.2.7 コメントツールバー

現在のスプレッドシートに互換性のあるアプリケーションで挿入されたコメントがある場合は



が表示されます。ツールバーには、次のツールが表示されます。

- **すべてを表示/非表示**すべてのコメントを表示または非表示にします。
- **表示/非表示選択**したセルのコメントを表示または非表示にします。
- **戻る前**のコメントを表示します。
- **次へ**、次のコメントを表示します。
- **削除**現在のコメントを削除します。
- **すべてを削除**ドキュメントの全てのコメントを削除します。

詳細は、次のページを参照してください。

[スプレッドシートの編集 \(p. 37\)](#)

4.2.8 画像ツールバー



画像を選択すると、**画像**ツールバーが表示されます。ツールバーには、次のツールが表示されます。

- **画像の削除**
- **画像フレーム**の罫線スタイルおよび色を調整します。
- **配置次**のオプションを選択できるメニューが表示されます。
 - **オーバラップ**するオブジェクトの表示順を指定します。
 - オブジェクトを**回転**または**反転**

詳細は、次のページを参照してください。

[スプレッドシートの編集 \(p. 37\)](#)

4.2.9 図形ツールバー



図形を選択すると、フォームツールバーが表示されます。ツールバーには、次のツールが表示されます。

- 図形の挿入
- オブジェクトを削除
- オブジェクトフレームの罫線スタイルおよび色を調整
- オブジェクトの内容の背景色を調整
- 配置重なり合うオブジェクトの順番を指定します。

詳細は、次のページを参照してください。

[スプレッドシートの編集 \(p. 37\)](#)

4.2.10 グラフツールバー



グラフを選択すると、グラフツールバーが表示されます。ツールバーには、次のツールが表示されます。

- グラフの削除
- グラフの種類（カラムチャート、折れ線グラフ、円グラフ）を指定します。
- 軸ラベルの設定、色の設定、スタイル設定の選択
- データ点のラベルおよび色の設定
- 凡例の表示/非表示、凡例位置の設定
- データソースの調整
- 配置重なり合うオブジェクトの順番を指定します。

詳細は、次のページを参照してください。

[スプレッドシートの編集 \(p. 37\)](#)

4.2.11 数式バー

数式バーはツールバーの下にあります。ツールバーには、次の情報とツールが表示されます。

- 現在のセルのアドレス
- 合計アイコン合計の数式を挿入します。
- 関数アイコン利用可能関数リストから関数を挿入できるウィンドウを開きます。
- 入力フィールド現在のセルの数式を表示します。

4.2.12 ドキュメント ウィンドウ

ドキュメント ウィンドウは画面の中央に表示されます。この画面で、ドキュメントの内容の作成および編集ができます。

4.2.13 スプレッドシートタブ

スプレッドシートタブは、ドキュメントウィンドウ下にあります。このバーでは、次の項目を選択できません：

- 現在のスプレッドシートを選択する
- 新規スプレッドシートを作成する
- 追加スプレッドシートアクション
 - スプレッドシートの名前の変更、コピー、削除
 - スプレッドシートを非表示にする、表示する、保護する
 - シートの順番を変更

4.3 スプレッドシートの作成

書式付き表や画像を含むスプレッドシートを作成できます。次のようなオプションの機能があります。

- スプレッドシート アプリケーションでのスプレッドシートの作成
- ドライブ アプリケーションでのスプレッドシートの作成

テンプレートも使用できます。暗号化されたドキュメントの作成情報は、グループウェアユーザガイドのデータの暗号化のトピックを参照してください。

スプレッドシート アプリケーションで新規スプレッドシートを作成する：

1. テンプレートを使用せずに新規スプレッドシートを作成するには、スプレッドシート アプリケーションで、ツールバーの **新規スプレッドシート** をクリックします。
テンプレートの使用には、次のいずれかの方法を使用します。
 - テンプレートから**新規作成** で、テンプレートをクリックします。
 - テンプレートのコンテキスト メニューを開きます。テンプレートから**新規作成** をクリックします。**無題** ページにスプレッドシートが表示されます。
2. **ファイル** ツールバーで、**無題** をクリックします。名前を入力します。
この画面で、内容の作成および編集ができます。
3. 終了するには、Office メニューバーの右側にある **ドキュメントを閉じる** アイコン  をクリックします。

ドライブ アプリケーションで新規スプレッドシートを作成する：

1. ドライブアプリケーションを起動する。
2. フォルダビューで、フォルダを 開きます。
注：オブジェクトを作成する権限のあるフォルダを開いてください。
3. テンプレートを使用せずに新規スプレッドシートを作成するには、ツールバーの **新規アイコン** をクリックします。**新規スプレッドシート** をクリックします。
テンプレートの使用には、次のいずれかの方法を使用します。
 - テンプレートをダブル クリックします。
 - テンプレートを選択します。ツールバーで、**テンプレートから新規作成** をクリックします。
 - ビューアでテンプレートを表示します。テンプレートから**新規作成** をクリックします。
4. **ファイル** ツールバーで、**無題** をクリックします。名前を入力します。
この画面で、内容の作成および編集ができます。
5. 終了するには、Office メニューバーの右側にある **ドキュメントを閉じる** アイコン  をクリックします。

詳細は、次のページを参照してください。

- スプレッドシートを開く (p. 36)
- スプレッドシートの編集 (p. 37)
- 新規の名前でスプレッドシートを編集 (p. 38)
- ツールバー (p. 26)
- テンプレートから新規作成 (p. 26)

4.4 スプレッドシートを開く

ドライブまたはローカルドライブに保存されているスプレッドシートを開くことができます。次のようなオプションの機能があります。

- スプレッドシートアプリケーションで、スプレッドシートを開きます。
- ドライブアプリケーションで、スプレッドシートを開きます。
- ローカルに保存されたスプレッドシートを開きます

暗号化されたドキュメントの作成情報は、グループウェアユーザガイドのデータの暗号化のトピックを参照してください。

スプレッドシート アプリケーションで、スプレッドシートを開く：

次のいずれかの方法を使用します。

- よく使用するドキュメントを表示するには、最近使用したドキュメントのドキュメントをクリックします。
ドキュメントのコンテキスト メニューも開くことができます。編集 を選択します。
ヒント：コンテキストメニューを使って最近開いたドキュメントの一覧からドキュメントを削除することができます。
- 別のドキュメントを表示するには、ツールバーのドキュメントを開くをクリックします。ドキュメントを開く ウィンドウで、スプレッドシートを選択します。開く をクリックします。

ドライブ アプリケーションで、スプレッドシートを開く：

次のいずれかの方法を使用します。

- スプレッドシートを選択するツールバーで、編集 をクリックします。
- スプレッドシートをダブルクリックします。
- コンテキストメニューから編集を選択します。
- ビューアでドキュメントを表示する編集 をクリックする

ローカルに保存されたスプレッドシートを表示する：

1. スプレッドシート アプリケーションで、ツールバーの **ドキュメントを開く** をクリックします。
ドキュメントを開くウィンドウで、オブジェクト作成の適切な権限のあるフォルダを選択します。
 2. **ローカルファイル** をクリックします。スプレッドシートを選択する
- 結果：ドキュメントは、ドライブにアップロードされます。その後、ドキュメントは表示されます。

詳細は、次のページを参照してください。

- スプレッドシートの作成 (p. 35)
- スプレッドシートの編集 (p. 37)
- 新規の名前でスプレッドシートを編集 (p. 38)
- ツールバー (p. 26)
- 最近使ったドキュメント (p. 26)
- テンプレートから新規作成 (p. 26)

4.5 スプレッドシートの編集

次のようなオプションの機能があります。

- 表の編集、セルの書式設定、データのソートまたはフィルタ
- 数式、画像、グラフなどの要素を挿入
- 行および列を追加、表の追加または削除
- 選択したスプレッドシートのダウンロード、印刷、メールでの送信
- テキストの検索と置換

注：ドキュメントを編集するには、対象のドキュメントがあるドライブフォルダの編集権限が必要です。

スプレッドシートを編集する

注：ドキュメントを編集するには、対象のドキュメントがあるドライブフォルダの編集権限が必要です。

1. **新規スプレッドシート**を作成、または既存のスプレッドシートを開きます。
2. ドキュメントを編集する際の操作は、一般的な Office アプリケーションの操作と同様です：
 - 文字や段落の書式を設定したりセルを編集するには、**書式 ツールバー** の機能を使用します。
 - クリップボード機能を使用するには、コンテキストメニューまたはお使いのシステムの鍵の組み合わせを使用します。
 - 選択したセルをソートまたはフィルタする、または名前の付いた範囲を作成するには、**データツールバー**の機能を使用します。
 - さまざまな要素を挿入するには、**挿入ツールバー**を使用します。次の要素が挿入できます。
 - 合計関数またはその他の関数
 - ハイパーリンク、画像、グラフ
 - 行または列全体を挿入、削除または書式設定するには、**行/列ツールバー**の機能を使用します。
 - Microsoft Excel、OpenOfficeやその他の互換性のあるアプリケーションで作成されているスプレッドシートにはセルコメントが入っている場合があります。そのようなセルコメントを表示するには、**コメントツールバー**を使用します。

ヒント：多くの機能がコンテキストメニューで起動することもできます。

注：すべての変更はただちに保存されます。

3. 表を追加または削除、あるいは、表の順を変更するには、表の下にある表タブを使用します。
4. テキストの文字列を検索したり、置換するには、Office メニューバーの右側にある **検索フィールド**を表示 アイコン  をクリックします。検索や置換のコントロールが表示されます。
5. 選択したスプレッドシートの名前の変更、保存、ダウンロード、または、印刷、あるいはメールで送信するには、**ファイル ツールバー**の機能を使用します。 .
6. 編集を終了してスプレッドシートを閉じるには、ドキュメント バーの右側にある **ドキュメントを閉じる** アイコン  をクリックします。

詳細は、次のページを参照してください。

スプレッドシートの作成 (p. 35)

スプレッドシートを開く (p. 36)

新規の名前でスプレッドシートを編集 (p. 38)

スプレッドシート編集ページ (p. 27)

4.6 新規の名前でスプレッドシートを編集

既存のドキュメントのコピーとしての新規ドキュメントを作成することができます。次のようなオプションの機能があります。

- 新規の名前で最近使ったドキュメントを編集
- 新規の名前でドキュメントを編集

新規の名前で最近使ったドキュメントを編集する：

1. **スプレッドシート** アプリケーションでは最近使用したドキュメント下のドキュメントコンテキストメニューから**新規編集**を選択することができます。編集するドキュメントが表示されます。
2. **ファイル** ツールバーで、**無題** をクリックします。名前を入力します。
この画面で、内容の**作成および編集**ができます。

新規の名前でドキュメントを編集する

1. **ドライブ**アプリケーションを起動する。
2. **フォルダビュー**で、ドキュメントが保存されているフォルダを **開きます**。
注：オブジェクトを作成する権限のあるフォルダを開いてください。
3. **ビューア**でドキュメントを表示します。さらに**表示アイコン**  をクリックします。**新規編集** を選択します。編集するドキュメントが表示されます。
4. **ファイル** ツールバーで、**無題** をクリックします。名前を入力します。
この画面で、内容の**作成および編集**ができます。

詳細は、次のページを参照してください。

- スプレッドシートの作成 (p. 35)
- スプレッドシートを開く (p. 36)
- スプレッドシートの編集 (p. 37)
- ツールバー (p. 26)
- 最近使ったドキュメント (p. 26)
- スプレッドシート編集ページ (p. 27)

4.7 設定

設定の詳細は、[Documents設定 \(page 23\)](#)を参照してください。

5 プレゼンテーション

プレゼンテーションアプリケーションの使用方法を次のトピックごとに説明します。

- [プレゼンテーション構成](#)
- [プレゼンテーション編集ページ構成](#)
- [新規プレゼンテーションの作成](#)
- [既存のプレゼンテーションの表示](#)
- [プレゼンテーションの編集](#)
- [新規の名前でプレゼンテーションを編集](#)

プレゼンテーションの検索や整理、他のユーザと共有するには、[ドライブ](#) アプリケーションを使用します。

プレゼンテーションアプリケーションを起動する：

メニューバーの[アプリケーションランチャーアイコン](#)  をクリックします。アプリケーションランチャーの[プレゼンテーション](#) をクリックします。

5.1 プレゼンテーションの画面構成

プレゼンテーションアプリケーションには下記を含めます。

- ツールバー
- 最近使ったドキュメント
- テンプレートから新規作成

5.1.1 ツールバー

ツールバーには、次の機能が利用できます。

- **新規プレゼンテーション**ボタン **新規プレゼンテーション**の作成
- **新規プレゼンテーション (暗号化)** ボタン表示されるかどうかはグループウェアの構成によります。暗号化の情報はグループウェアユーザガイドを参照してください。
- **ドキュメントを開く**ボタン。 **既存のドキュメント** を開きます。

5.1.2 最近使ったドキュメント

最近開いたドキュメントの一覧が表示されます。次の機能が利用できます。

- ドキュメント名にマウスのポインタを置くと、ファイル名とドキュメントのパスが表示されます。
- ドキュメントをクリックするとドキュメントが開きます。
- ドキュメントのコンテキストメニューには編集、ダウンロード、一覧を整理する機能があります。

詳細は、次のページを参照してください。

[プレゼンテーション編集ページ \(p. 43\)](#)
[プレゼンテーションの表示 \(p. 53\)](#)
[プレゼンテーションの編集 \(p. 54\)](#)

5.1.3 テンプレートから新規作成

さまざまなドキュメントのテンプレートがあります。次の機能が利用できます。

- テンプレートをクリックすると新規ドキュメントが作成されます。新規ドキュメントはテンプレートのコピーになります。
- テンプレートのコンテキストメニューにはテンプレート編集とドキュメントの作成機能があります。

詳細は、次のページを参照してください。

[プレゼンテーション編集ページ \(p. 43\)](#)
[プレゼンテーションの作成 \(p. 52\)](#)
[プレゼンテーションの編集 \(p. 54\)](#)

5.2 プレゼンテーション編集ページ

新規プレゼンテーションの作成や既存のプレゼンテーションの編集時にプレゼンテーション編集ページが表示されます。次の要素が含まれます。

- Office メニュー バー
- ファイル ツールバー
- 書式 ツールバー
- 挿入 ツールバー
- スライドツールバー
- レビュー ツールバー
- 表 ツールバー. 表が選択されているときに表示されます。
- 画像ツールバー. 画像が選択されているときに表示されます。
- 図形ツールバー. 図形が選択されているときに表示されます。
- 線ツールバー. 線が選択されているときに表示されます。
- サイドバー
- ドキュメント ウィンドウ

注：画面サイズが小さい場合、コンパクトツールバーが表示されます。コンパクトツールバーでは、テキストがアイコンで表示されているものもあります。複数のメニュー項目はスクロールバーに組み込まれます。

5.2.1 Office メニュー バー

次のことが行えます。

- ファイルファイル機能を適用する **ファイル ツールバー**を表示します。
- フォーマットドキュメントの内容に書式を設定する **書式 ツールバー** を表示します。
- 挿入表、画像、テキストフレーム、ハイパーリンク、タブストップ、改行、改ページなどをテキストに挿入する **挿入ツールバー**を表示します。
- スライドスライドの追加、削除、編集ができる **スライドツールバー**を表示します。
- レビュースペルチェック ツールと変更履歴ツールが使用できる **レビュー ツールバー** を表示します。
- 暗号化 アイコン。暗号化されたドキュメントが表示されているときに表示されます。暗号化の情報はグループウェアユーザガイドを参照してください。
- 保存についての通知。ドキュメントのすべての変更が保存されたかどうかを通知します。
- 前の操作に戻る アイコン。前の操作に戻します。
- 復元 アイコン。元に戻す操作を取り消します。
- 検索フィールドを表示 アイコン。テキストの文字列を検索または置換するコントロールを表示します。
- プレゼンテーションプレゼンテーションが新規ページで開きます。このページでプレゼンテーションを行えます。
詳細と手順は、Groupware ユーザ ガイドのドライブプレゼンテーションを行うの章にあります。
- 表示次のオプションを選択できるメニューが表示されます。
 - テキストを拡大、縮小する機能
 - **表示マスター**チェックボックススライドの代わりにマスタースライドを表示するかどうかを指定します。この場合、マスタースライドの編集が可能です。
 - **サイドバーを表示** チェックボックスサイドバーを表示するかどうかを指定します。サイドバーには現在のプレゼンテーションのサムネイルビューがあります。
 - **ツールバーを表示** チェックボックス。ツールバーを常に表示するかどうかを指定します。
 - **共同編集者を表示** チェックボックス。ドキュメントの編集者のリストを表示するかどうかを指定します。**他のユーザと共にドキュメントを編集** する場合のみ、この機能を有効にします。
- **ドキュメントを閉じる** アイコン。書式ウィンドウを閉じます。

詳細は、次のページを参照してください。

[プレゼンテーションの編集 \(p. 54\)](#)

5.2.2 ファイル ツールバー



ツールバーには、次のツールが表示されます。

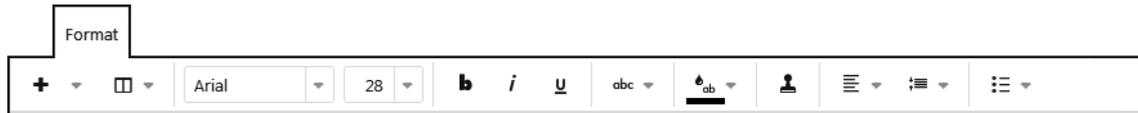
- **ドキュメントの名前を変更** 入力フィールドドキュメントの名前を変更するには、ファイル名をクリックします。
- **ドライブに保存** 次のオプションを選択できるメニューが表示されます。
 - 名前を付けて保存 選択したドキュメントを新規の名前または別のフォルダに保存します。
 - (暗号化) として保存 構成によって、この機能が利用できない可能性があります。暗号化の情報はグループウェアユーザガイドを参照してください。
 - テンプレートとして保存 テンプレートとして選択したドキュメントを保存します。
 - PDF としてエクスポート。選択したドキュメントをPDF形式にエクスポートします。
 - 自動保存 チェックボックス定期的にドキュメントを自動的に保存するかどうかを指定できます。
- **スライド設定アイコン** 。スライド設定ダイアログウィンドウを表示します。スライドサイズの設定ツールがあります。
 - スライド形式と紙の方向の規定値
 - スライドサイズの入力フィールド
- **ダウンロードアイコン** 。選択したドキュメントをダウンロードします。
- **PDFとして印刷アイコン**  現在のドキュメントのPDFバージョンを生成します。
- **メールで送信アイコン** 。選択したドキュメントをメールの添付ファイルとして送信します。
- **共有アイコン**  次のオプションを選択できるメニューが表示されます。
 - 招待。ドキュメントの閲覧や編集への招待をするための機能を表示します。
 - 共有リンクを作成 リンクを使ったドキュメントの共有のための機能を表示します。
- **プレゼンテーション** プレゼンテーションが新規ページで開きます。このページでプレゼンテーションを行えます。
詳細と手順は、ユーザガイドのプレゼンテーションを行うの章にあります。

注：暗号化されたドキュメントを開くと、メールで送信及び共有の機能は利用できません。

詳細は、次のページを参照してください。

[プレゼンテーションの編集 \(p. 54\)](#)

5.2.3 書式 ツールバー



次の機能があります：

- 新規スライドを挿入
 - **+スライド+スライド**ボタンで以前のスライドのマスタースライドレイアウトでスライドを挿入します。
スライドは、標準レイアウトのタイトルスライドの後に直接挿入されます。
 - **新規スライドを挿入**アイコン▼は利用可能なマスタースライドのメニューで表示されます。
- **レイアウト**別のマスタースライドをスライドに割り当てて、レイアウトを変更します。
- 文字の書式設定
 - フォント ファミリ、フォント サイズ
 - 強調
 - 他の字体スタイル、フォーマットを解除
 - テキストの色、蛍光ペンの色
 - 書式のコピー/貼り付け
- 段落の書式設定
 - 段落の配置、行間、段落間
 - 段落の塗りつぶしの色、段落の罫線
 - 段落のスタイル、新規スタイル
 - 箇条書きリスト、番号付きリスト、レベル下げ、レベル上げ

詳細は、次のページを参照してください。

[プレゼンテーションの編集 \(p. 54\)](#)

5.2.4 挿入 ツールバー



次の機能があります。

- **+スライド+スライド**ボタンで以前のスライドのマスタースライドレイアウトでスライドを挿入します。スライドは、標準レイアウトのタイトルスライドの後に直接挿入されます。
- **新規スライドを挿入**アイコン▼。マスタースライドの挿入機能のメニューを開きます。
- **レイアウト**別のマスタースライドをスライドに割り当てて、レイアウトを変更します。
- **スプレッドシート**スプレッドシートを挿入挿入するときに行および列の数を指定できます。
- **画像**画像挿入用ウィンドウを開きます。画像をローカルファイルとして、あるいはドライブから開くことができます。
- **テキストフレーム**テキストフレームを挿入
テキストフレームは長方形で、罫線、バックグラウンド、テキストがついています。グラフィックと同様、テキストフレームの移動、回転、調整が可能です。
- **図形**図形の挿入機能のメニューを開きます。
図形にはフレームとバックグラウンドがあります。多くの図形には編集可能なテキストが入れられません。
図形の編集機能は**リンクを固定**にあります。
- **ハイパーリンク**ハイパーリンク挿入または編集用ウィンドウを開きます。
- **タブストップ**各制御文字を挿入します。
- **フッタ**ウィンドウが表示され、フッタの内容が指定できます：
 - 時間、日付、フッタテキスト、スライド番号
 - 現在のスライドまたはすべてのスライドへのフッタ挿入ボタン
- **フィールド**フィールドの挿入機能のメニューを開く：
 - 時間、日付
 - スライド番号

詳細は、次のページを参照してください。

[プレゼンテーションの編集 \(p. 54\)](#)

カーソルが表内に表示されると、表ツールバーが表示されます。ツールバーには、次のツールが表示されます。

- スプレッドシートを削除
- 行の挿入、選択した行の削除、列の挿入、選択して列の削除
- セル内の段落の配置の選択
- セルの塗りつぶしの色を選択、セルの罫線を選択、セルの罫線幅を選択
- 表スタイルの割り当て表のスタイルには規定のセルの罫線と特定の表のセルおよび行の塗りつぶしの色があります。
- 配置重なり合うオブジェクトの順番を指定します。回転機能や反転機能があります。
- 配置メニューを表示して、スライドの複数のオブジェクトのアライメントを指定できます。

詳細は、次のページを参照してください。

[プレゼンテーションの編集 \(p. 54\)](#)

5.2.8 画像ツールバー



画像を選択すると、画像ツールバーが表示されます。ツールバーには、次のツールが表示されます。

- 画像の削除
- 画像フレームの罫線スタイルおよび色を調整します。
- トリミング次のオプションを選択できるメニューが表示されます。
 - フレームを使用して画像をトリミングします。
 - フレームいっぱいにはいるように画像を調整します。アスペクト比は保持されます。画像はトリミングされる可能性があります。
 - フレームに完全に合うように画像を調整します。アスペクト比は保持されます。フレームの内側に空間がある可能性があります。
 - 数値を使用してトリミングフレーム位置を設定します。
- 罫線スタイルと色を別の画像に反映します。
- 配置重なり合うオブジェクトの順番を指定します。回転機能や反転機能があります。
- 配置メニューを表示して、スライドの複数のオブジェクトのアライメントを指定できます。
- オプションメニューを表示して、オブジェクトが縮尺されたときの動きを指定できます。

詳細は、次のページを参照してください。

[プレゼンテーションの編集 \(p. 54\)](#)

5.2.9 図形ツールバー



テキストフレームを選択すると、**図形ツールバー**が表示されます。ツールバーには、次のツールが表示されます。

- 図形の挿入
- オブジェクトを削除
- オブジェクトフレームの罫線スタイルおよび色を調整
- オブジェクトの内容の背景色を調整
- 罫線スタイルと色を別の図形に反映します。
- 配置次のオプションを選択できるメニューが表示されます。
 - オーラップするオブジェクトの表示順を指定します。
 - オブジェクトを回転または反転
- 配置メニューを表示して、スライドのオブジェクトのアライメントを指定できます。
- 複数のオブジェクトを選択すると、次の機能が表示されます：
 - **グループアイコン**選択したオブジェクトからグループを作成します。グループは一つのオブジェクトとして編集できます。
 - **グループ解除アイコン**グループを解除します。オブジェクトは保持されます。
- **オプションメニュー**を表示して、オブジェクトが縮尺されたときの動きを指定できます。

詳細は、次のページを参照してください。

[プレゼンテーションの編集 \(p. 54\)](#)

5.2.10 線ツールバー



線を選択すると、**線ツールバー**が表示されます。ツールバーには、次のツールが表示されます。

- 図形の挿入
- オブジェクトを削除
- 線のスタイルと色を調整
- 線端の矢印のスタイルを調整
- 形式を別の線に反映
- 配置次のオプションを選択できるメニューが表示されます。
 - オーラップするオブジェクトの表示順を指定します。
 - オブジェクトを回転または反転
- 配置メニューを表示して、スライドのオブジェクトのアライメントを指定できます。
- **オプションメニュー**を表示して、オブジェクトが縮尺されたときの動きを指定できます。

詳細は、次のページを参照してください。

[プレゼンテーションの編集 \(p. 54\)](#)

5.2.11 サイドバー

サイドバーは左側にあります。プレゼンテーションスライドのサムネイルビューがあります。次の機能が利用できます。

- スライドをクリックすると、ドキュメントウィンドウに表示されます。
- スライドのコンテキストメニューには次の機能があります：新規スライドを追加複製、削除、非表示、レイアウトの変更
- スライドを別の位置にドラッグして、スライド順序を変更することができます。

詳細は、次のページを参照してください。

[プレゼンテーションの編集 \(p. 54\)](#)

5.2.12 ドキュメント ウィンドウ

ドキュメント ウィンドウは画面の中央に表示されます。この画面で、ドキュメントの内容の作成および編集ができます。

5.3 プレゼンテーションの作成

次のようなオプションの機能があります。

- プレゼンテーションアプリケーションで、プレゼンテーションの作成を行います。
- ドライブアプリケーションで、プレゼンテーションの作成を行います。

テンプレートも使用できます。暗号化されたドキュメントの作成情報は、グループウェアユーザガイドのデータの暗号化のトピックを参照してください。

プレゼンテーション アプリケーションで新規プレゼンテーションを作成する：

1. テンプレートを使用せずに新規プレゼンテーションを作成するには、**プレゼンテーション アプリケーション**で、ツールバーの **新規プレゼンテーション** をクリックします。
テンプレートの使用には、次のいずれかの方法を使用します。
 - テンプレートから**新規作成**で、テンプレートをクリックします。
 - テンプレートのコンテキストメニューを開きます。**テンプレートから新規作成**をクリックします。**無題** ページに新規プレゼンテーションが表示されます。
2. **ファイル** ツールバーで、**無題** をクリックします。名前を入力します。
この画面で、内容の作成および編集ができます。
3. 終了するには、Office メニューバーの右側にある **ドキュメントを閉じる** アイコン  をクリックします。

ドライブ アプリケーションで新規プレゼンテーションを作成する：

1. ドライブアプリケーションを起動する。
2. フォルダビューで、フォルダを開きます。
注：オブジェクトを作成する権限のあるフォルダを開いてください。
3. テンプレートを使用せずに新規プレゼンテーションを作成するには、ツールバーの **新規** をクリックします。**新規プレゼンテーション** をクリックします。
テンプレートの使用には、次のいずれかの方法を使用します。
 - テンプレートをダブルクリックします。
 - テンプレートを選択します。ツールバーで、**テンプレートから新規作成** をクリックします。
 - ビューアでテンプレートを表示します。**テンプレートから新規作成** をクリックします。
4. **ファイル** ツールバーで、**無題** をクリックします。名前を入力します。
この画面で、内容の作成および編集ができます。
5. 終了するには、Office メニューバーの右側にある **ドキュメントを閉じる** アイコン  をクリックします。

詳細は、次のページを参照してください。

[プレゼンテーションの表示](#) (p. 53)

[プレゼンテーションの編集](#) (p. 54)

[新規の名前でプレゼンテーションを編集](#) (p. 57)

[ツールバー](#) (p. 42)

[テンプレートから新規作成](#) (p. 42)

5.4 プレゼンテーションの表示

ドライブまたはローカルドライブに保存されているプレゼンテーションを開くことができます。次のようなオプションの機能があります。

- プレゼンテーションアプリケーションで、プレゼンテーションを開きます。
- ドライブアプリケーションで、プレゼンテーションを開きます。
- ローカルに保存されたプレゼンテーションを開きます。

暗号化されたドキュメントの作成情報は、グループウェアユーザガイドのデータの暗号化のトピックを参照してください。

プレゼンテーション アプリケーションで、プレゼンテーションを開く：

次のいずれかの方法を使用します。

- よく使用するプレゼンテーションを表示するには、最近使用したドキュメントのドキュメントをクリックします。
ドキュメントのコンテキストメニューも開くことができます。編集 を選択します。
ヒント：コンテキストメニューを使って最近開いたドキュメントの一覧からドキュメントを削除することができます。
- 別のプレゼンテーションを表示するには、ツールバーのドキュメントを開くをクリックします。ドキュメントを開く ウィンドウで、プレゼンテーションを選択します。開く をクリックします。

ドライブ アプリケーションで、プレゼンテーションを開く：

次のいずれかの方法を使用します。

- プレゼンテーションを選択します。ツールバーで、編集 をクリックします。
- プレゼンテーションをダブルクリックします。
- コンテキストメニューから編集を選択します。
- ビューアでプレゼンテーションを表示します。編集 をクリックする

ローカルに保存されたプレゼンテーションを表示する：

1. プレゼンテーション アプリケーションで、ツールバーの ドキュメントを開く をクリックします。
ドキュメントを開くウィンドウで、オブジェクト作成の適切な権限のあるフォルダを選択します。
2. ローカルファイルをクリックします。プレゼンテーションを選択します。

結果：ドキュメントは、ドライブにアップロードされます。その後、ドキュメントは表示されます。

詳細は、次のページを参照してください。

- プレゼンテーションの作成 (p. 52)
- プレゼンテーションの編集 (p. 54)
- 新規の名前でプレゼンテーションを編集 (p. 57)
- ツールバー (p. 42)
- 最近使ったドキュメント (p. 42)
- テンプレートから新規作成 (p. 42)

5.5 プレゼンテーションの編集

次のようなオプションの機能があります。

- **プレゼンテーションの作成**
 - スライドの挿入、複製、削除
 - プレゼンテーションの実施、ダウンロード、印刷、またはメールで送信
 - プレゼンテーションの実施
- **スライドの内容の編集**
 - テキストの編集、文字の書式設定、段落の書式設定
 - 表、画像、テキストフレーム、ヘッダ、フッタおよびページ番号などのさまざまな要素を挿入します。
 - オブジェクトの編集（移動、回転、縮尺変更など）
 - スペルチェック、テキスト要素の検索と置換
- **スライドのレイアウト編集**
 - マスタースライドの割り当て
 - レイアウトの調整
 - マスタースライドの編集

注：ドキュメントを編集するには、対象のドキュメントがあるドライブフォルダの編集権限が必要です。

プレゼンテーションを作成する：

1. 新規のドキュメントを作成するか、既存のドキュメントを開きます。
2. スライドのページ形式を設定するには、ファイルツールバーの**スライド設定アイコン**  をクリックします。
3. 新規スライドを追加するには、ツールバーの**形式**、**挿入**、スライドのいずれかを選択します。次のいずれかの方法を使用します。
 - マスタースライドの前のスライドのレイアウトでスライドを挿入するには、**+スライドボタン**をクリックします。**+スライドボタン**を使用してタイトルスライドの後にスライドを挿入すると、挿入されたスライドは標準マスタースライドのレイアウトになります。
サイドバーでスライドのコンテキストメニューを表示することもできます。**スライドを挿入**を選択します。
 - 別のマスタースライドのレイアウトでスライドを挿入するには、**新規スライドを挿入アイコン**  をクリックします。マスタースライドを選択します。
 - スライドのコピーを挿入するには、サイドバーのスライドのコンテキストメニューを表示します。**スライドを複製**を選択します。
4. スライドの内容とレイアウトを作成および編集します。
5. プレゼンテーションスライドを整理するには次のオプションがあります：
 - スライドの順序を変更するには、スライドバーでスライドの別の位置にドラッグします。
 - スライドの削除するには、サイドバーのスライドのコンテキストメニューを表示します。**スライドを削除**を選択します。
 - スライドをプレゼンテーションに表示しない場合は、サイドバーのスライドのコンテキストメニューを表示します。**スライドを非表示**を選択します。
6. 選択したテキストドキュメントの名前の変更、保存、ダウンロード、または、印刷、あるいはメールで送信するには、**ファイル ツールバーの機能を使用します。**
7. 編集を終了してプレゼンテーションを閉じるには、Office メニューバーの右側にある **ドキュメントを閉じる アイコン**  をクリックします。

スライドの内容の編集する

1. サイドバーで編集したいスライドを選択します。
2. 使用されるマスタースライドによって、スライドにはプレースホルダーテキストの要素が含まれます。クリックして、テキストを編集します。
クリップボード機能を使用するには、コンテキストメニューまたはお使いのシステムの鍵の組み合わせを使用します。
さらに要素を挿入する場合は、**挿入ツールバーの機能を使用します。**
クリックして、要素を編集します。**図形ツールバーの機能を使用します。**
3. 文字や段落の書式の設定には、**形式ツールバーの機能を使用します。**
さまざまな要素を挿入するには、**挿入ツールバー**を使用します。次の要素が挿入できます。
 - 表、画像、テキストフレーム、図形、ハイパーリンク
 - 時間、日付、フッタテキスト、スライド番号フィールドのフッタ
 - 自動作成コンテンツのフィールド
4. スペルチェックは、**レビューツールバーの機能を使用します。**
注：すべての変更はただちに保存されます。
テキストの文字列を検索したり、置換するには、Office メニューバーの右側にある **検索フィールドを表示 アイコン**  をクリックします。検索や置換のコントロールが表示されます。

スライドのレイアウトを編集する：

1. サイドバーで編集したいスライドを選択します。
2. 別のマスタースライドのレイアウトをスライドに使用するには、サイドバーのスライドのコンテキストメニューを表示します。**レイアウトを変更**を選択します。マスタースライドを選択します。
3. このスライドのレイアウトを調節するには、次のいずれかをクリックして要素を編集します。編集ポイントのついたフレームが表示されます。
 - 位置を変更するには、フレームを新しい位置にドラッグします。
 - サイズを変更、または回転するには、適切な編集ポイントをドラッグします。
4. 背景を調節するには、**スライドツールバー**を選択します。**背景**をクリックします。背景ウィンドウで設定を変更します。
5. 同じマスタースライドを使用してすべてのスライドのレイアウトを調節するには、マスタースライドを編集します。次の手順で行います。
 - a. **スライドツールバー**を選択します。**マスタースライドを編集**をクリックします。Office メニューバーで**ビュー**をクリックすることもできます。**表示マスター**を有効にします。
 - b. マスタースライドを編集します。どのスライドがこのマスタースライドを使用しているかを確認するには、サイドバーでマスタースライドの上にマウスポイントをおいてください。
 - c. **完了**をクリックします。Office メニューバーで**ビュー**をクリックすることもできます。**表示マスター**を無効にします。

注：以前に変更したレイアウトのスライドは現在のレイアウトを維持します。

詳細は、次のページを参照してください。

[プレゼンテーションの作成 \(p. 52\)](#)

[プレゼンテーションの表示 \(p. 53\)](#)

[新規の名前でプレゼンテーションを編集 \(p. 57\)](#)

[プレゼンテーション編集ページ \(p. 43\)](#)

5.6 新規の名前でプレゼンテーションを編集

既存のドキュメントのコピーとしての新規ドキュメントを作成することができます。次のようなオプションの機能があります。

- 新規の名前で最近使ったドキュメントを編集
- 新規の名前でドキュメントを編集

新規の名前で最近使ったドキュメントを編集する：

1. プレゼンテーション アプリケーションでは最近使用したドキュメント下のドキュメントコンテキストメニューから**新規編集**を選択することができます。編集するドキュメントが表示されます。
2. **ファイル** ツールバーで、**無題** をクリックします。名前を入力します。
この画面で、内容の**作成および編集**ができます。

新規の名前でドキュメントを編集する

1. ドライブアプリケーションを起動する。
2. フォルダビューで、ドキュメントが保存されているフォルダを 開きます。
注：オブジェクトを作成する権限のあるフォルダを開いてください。
3. ビューアでドキュメントを表示します。さらに**表示アイコン**  をクリックします。**新規編集** を選択します。編集するドキュメントが表示されます。
4. **ファイル** ツールバーで、**無題** をクリックします。名前を入力します。
この画面で、内容の**作成および編集**ができます。

詳細は、次のページを参照してください。

- プレゼンテーションの作成 (p. 52)
- プレゼンテーションの表示 (p. 53)
- プレゼンテーションの編集 (p. 54)
- ツールバー (p. 42)
- 最近使ったドキュメント (p. 42)
- プレゼンテーション編集ページ (p. 43)

5.7 設定

設定の詳細は、[Documents設定 \(page 23\)](#)を参照してください。

6 テンプレート

テンプレートの使い方を学ぶ

- 新規ドキュメントを作成するときには、[既存のテンプレート](#)を使用できます。
- 現在編集中のドキュメントから[新規テンプレート](#)を作成できます。
- 既存のテンプレートを[編集](#)できます。
- フォルダにテンプレートを[整理](#)できます。

6.1 テンプレートの使用

サーバ構成によって、さまざまなグローバルテンプレートを使用できます。[自分のテンプレートを作成](#)することもできます。

新規ドキュメントの作成時にテンプレートを使用する

テキスト、スプレッドシートまたはプレゼンテーションアプリケーションでは、次のいずれの方法を使用します。

- テンプレートから**新規作成** で、テンプレートをクリックします。
- テンプレートのコンテキストメニューを開きます。**テンプレートから新規作成** をクリックします。ドライブアプリケーションでは、次のいずれかの方法を使用します。
- テンプレートをダブルクリックします。
- テンプレートを選択します。ツールバーで、**テンプレートから新規作成** をクリックします。
- ビューアでテンプレートを表示します。**テンプレートから新規作成** をクリックします。

無題 ページに新規ドキュメントが表示されます。

6.2 テンプレートの作成

現在新規テンプレートとして編集中のドキュメントを保存して、テンプレートを作成できます。新規テンプレートは **ドライブ アプリケーション**のマイファイルに保存されます。作成したテンプレートは、テンプレートフォルダに**整理**できます。

新規テンプレートを作成する

1. テキスト、スプレッドシートまたはプレゼンテーションアプリケーションで既存のドキュメントを開くか、新規ドキュメントを作成します。
ヒント：グローバルテンプレートを変更するには、変更したいグローバルテンプレートから新規テンプレートを作成します。
2. ファイルツールバーで、**Drive**に保存をクリックします。テンプレートとして保存を選択します。テンプレートとして**保存(dotx)**ウィンドウが開きます。
テンプレートフォルダを選択します。
ファイル名を入力します。**OK**をクリックします。
3. 編集したいように内容を編集します。
4. テンプレートの編集を終了するには、**ドキュメントを閉じる**アイコンをクリックします。 

6.3 テンプレートを編集

作成したテンプレートを編集できます。作成したテンプレートは、テンプレートフォルダに整理できます。

既存のテンプレートを編集する：

1. テキスト、スプレッドシートまたはプレゼンテーションのアプリケーションテンプレートから新規の下からテンプレートのコンテキストメニューを開きます。テンプレートを編集を選択します。
ドライブアプリケーションでは、次のいずれかの方法を使用します。
 - テンプレートを選択します。ツールバーのアクションアイコンをクリックします。メニューで、テンプレートを編集 をクリックします。
 - ビューアでテンプレートを表示します。ツールバーのアクション アイコンをクリックします。メニューで、テンプレートを編集 をクリックします。
2. 編集したいように内容を編集します。
3. テンプレートの編集を終了するには、ドキュメントを閉じるアイコンをクリックします。✕

6.4 テンプレートの整理

概要を把握できるように、テンプレートをテンプレートフォルダに整理できます。新規ドキュメントを作成するときには、ドキュメントの種類に適合するテンプレート全てがテンプレートフォルダから表示されます。次のようなオプションの機能があります。

- テンプレートフォルダとしてフォルダを指定することで新規のテンプレートフォルダを作成
- テンプレートフォルダを削除
- テンプレートを含むフォルダを開きます。

新規テンプレートフォルダを作成する

1. ドライブ アプリケーションで、テンプレートに使用したい新規個人用フォルダを作成します。すでに作成したテンプレートがある場合は、そのテンプレートを新規フォルダに移動できます。
2. メニューバーの右側にあるシステムメニューアイコンをクリックします。メニューで、設定の項目をクリックします。
3. サイドバーからドキュメントを選択します。
4. 表示エリアで、新規テンプレートフォルダを追加をクリックします。フォルダを選択します。OK をクリックします。新規テンプレートフォルダは、テンプレートフォルダに保存されます。

ヒント：ドライブアプリケーションでテンプレートフォルダを開くには、その名前の下にあるパスをクリックします。

注：作成したテンプレートを削除、移動、名前を変更する場合には、ドライブアプリケーションの機能を使用します。

テンプレートフォルダを削除する

1. メニューバーの右側にあるシステムメニューアイコンをクリックします。メニューで、設定の項目をクリックします。
2. サイドバーからドキュメントを選択します。
3. 表示エリアのテンプレートフォルダの隣の削除アイコンをクリックします。

注：テンプレートフォルダも、その中のテンプレートもこの処理で削除されます。その結果、テンプレートは新規ドキュメントを作成した時には表示されません。

テンプレートフォルダを開く：

テキスト、スプレッドシートまたはプレゼンテーションのアプリケーションテンプレートから新規の下からテンプレートのコンテキストメニューを開きます。Driveに表示を選択します。

テンプレートを含むフォルダがドライブ アプリケーションで表示されます。

7 共同編集

他のユーザや外部パートナーと共同して編集する方法を次のトピックごとに説明します。

- 読み取りアクセスまたは編集アクセスで他のユーザまたは外部のパートナーにデータを共有 [66]
- 他のユーザや外部パートナーとドキュメントを一緒に編集 [68] できます。

7.1 ドキュメントの共有

次のようなオプションの機能があります。

- [パブリックリンクを作成](#)して読み取りアクセスのある選択したドキュメントを共有できます。このリンクを内部ユーザまたは外部のパートナーに提供もできます。このリンクを得たユーザは、ドキュメントを見ることができます。
- メールで内部ユーザまたは外部パートナーを共有ファイルに[招待](#)ドキュメントにどの権限が付与されるか指定します。招待のメールには、ドキュメントのアクセスに関する注意が含まれます。外部パートナーがドキュメントにアクセスする場合、パートナーは自動でゲストユーザとしてログインします。

パブリックリンクを作成して、読み取りアクセスで選択したドキュメントを共有する：

前提条件：編集するためにドキュメントを開きます。

1. Office メニューバーのファイルをクリックします。

ツールバーで、共有アイコン  をクリックします。共有リンクを作成をクリックします。

共有オブジェクトのウィンドウが表示されます。共有ファイルの読み取りアクセス用のパブリックリンクを含みます。

他のアプリケーションにリンクを挿入するには、リンクの隣のクリックボードにコピーアイコン  をクリックします。

2. 次のようなオプションの機能があります。

- リンクをメールで直接送信するには、個々のメールアドレスを入力します。受取人へのメッセージを入力できます。
- 規定では、データは無制限で読み取りアクセスがある状態で共有されます。共有データへのアクセスに時間制限を設ける場合は、有効期限を有効にします。時間範囲を選択します。
- パスワードでアクセスを保護する場合はパスワードが必要を有効にします。パスワードを入力します。メールごとにパブリックリンクを送信する場合、メールにはパスワードが含まれます。

3. 閉じるをクリックします。

同等アクション

選択したドキュメントを読んだり、編集するために内部ユーザまたは外部パートナーを招待する：(p. 67)

選択したドキュメントを読んだり、編集するために内部ユーザまたは外部パートナーを招待する：

前提条件：編集するためにドキュメントを開きます。

1. Office メニューバーのファイルをクリックします。

ツールバーで、共有アイコン  をクリックします。招待をクリックします。

ウィンドウが表示されます。既存の権限は、一覧で表示されます。

2. 人を追加にメールアドレスを入力します。メールアドレスは、内部ユーザ、グループ、またはゲストとして一覧に追加されます。既定の許可が付与されます。

必要に応じて、メッセージを入力します。

3. 次のようなオプションの機能があります。

- ユーザロールの調整には、現在のユーザロールビューアをクリックします。メニューで、目的の項目を選択します。
- 権限を削除するには、ユーザー名の隣にあるアクションアイコン  をクリックします。削除をクリックします。

4. 共有をクリックします。

受取人はリンク付きのメールを受信します。受取人がリンクをクリックすると、ドキュメントがビューアに表示されます。受取人に編集権限を付与すると、受取人はビューアの編集をクリックして編集のためにドキュメントを表示することができます。

同等アクション

パブリックリンクを作成して、読み取りアクセスで選択したドキュメントを共有する：(p. 67)

7.2 ドキュメントの共同編集

グループウェア サーバに保存されたドキュメントは、他のユーザまたは外部パートナーと共にリアルタイムで編集できます。これを行うには、ドキュメントをパブリック フォルダまたは共有フォルダに保存します。ユーザまたは外部パートナーはこのフォルダの書き込み権限を設定する必要があります。次のルールが適用されます：

- ドキュメントを作成または初めて開いた人には、当面ドキュメントの編集権限が付与されます。このユーザは、現在の編集者と呼ばれます。その後ドキュメントを開いた人には、読み取り権限が付与されます。この人は、閲覧者と呼ばれます。
- 閲覧者は、現在の編集者が適用したすべての変更を確認できます。
- 編集権限を要求すれば、閲覧者は現在の編集者になることができます。前の編集者が変更を行うとすぐに、サーバによって、新しい現在の編集者に編集権限が移行されます。
- 現在の編集者がドキュメントを閉じるとすぐに、ドキュメントの新しいバージョンがサーバに作成されます。

他のユーザと共にドキュメントを共同編集する

1. 新規のドキュメントを作成するか、既存のドキュメントを開きます。
ドキュメントを共同編集したいユーザに必要な権限が付与されていることを確認します。詳細と手順については、Groupware ユーザ ガイドの [データの整理](#) > [権限のセクション](#)をご参照ください。
2. ドキュメントを共同編集したい人に通知します。各人がドキュメントを開く必要があります。現在ドキュメントを編集中のユーザが表示されます。
ドキュメントに適用した変更は、他のユーザに表示されます。
各ユーザには、他のユーザが操作しているカーソルが表示されます。カーソルは、異なる色でハイライトされます。名前を閲覧するには、カーソルの一つをホバーします。
ヒント：ドキュメントを開いた人のリストを表示するには、Officeメニューで**ビュー**をクリックし、**共同編集者を表示**チェックボックスを有効にします。現在の編集者はリストの最上部に表示されます。
3. ドキュメントを編集したい人は、ツールバーの**編集**をクリックします。
4. 終了するには、Office メニュー バーの右側にある **ドキュメントを閉じる** アイコン  をクリックします。

索引

シンボル

アプリケーション
 スプレッドシート, 25
 テキスト, 9
 プレゼンテーション, 41
スプレッドシート, 25
 Office メニュー バー, 28
 ダウンロード, 37
 作成, 35, 52
 印刷, 37
 新規の名前で編集, 38
 検索と置換, 37
 画面構成, 26
 編集, 37
 編集ページ, 27
 開く, 36
テキスト, 9
 Office メニュー バー, 12
 画面構成, 10
 編集ページ, 11
テキストドキュメント
 ダウンロード, 21
 メールの送信, 21
 作成, 19
 印刷, 21
 新規の名前で編集, 22
 検索と置換, 21
 編集, 21
 開く, 20
テンプレート, 59
 作成, 61
 使用, 60
 整理, 63
 編集, 62
ドキュメント, 5
プレゼンテーション, 41
 Office メニュー バー, 44
 ダウンロード, 54
 メールの送信, 54
 作成, 52
 印刷, 54
 新規の名前で編集, 57
 検索と置換, 54
 画面構成, 42
 編集, 54
 編集ページ, 43
 開く, 53
作成
 スプレッドシート, 35
 テキストドキュメント, 19
共同編集, 65
新規の名前で編集
 スプレッドシート, 38
 テキストドキュメント, 22
 プレゼンテーション, 57
編集

 スプレッドシート, 37
 テキストドキュメント, 21
 ドキュメントの共同編集, 68
 ドキュメントの共有, 66
 プレゼンテーション, 54
編集ページ
 スプレッドシート, 27
 テキスト, 11
 プレゼンテーション, 43
表示
 プレゼンテーション, 53
設定, 23
開く
 スプレッドシート, 36
 テキストドキュメント, 20

D

Documents, 7
Documents設定, 23
 グローバルテンプレートフォルダ, 23
 ユーザ辞書を編集, 23
 寸法, 23
 常にスペルチェックを行う, 23
 自分のテンプレートフォルダ, 23

O

Office メニュー バー
 スプレッドシート, 28
 テキスト, 12
 プレゼンテーション, 44

